

地域概要（特徴・課題）

- ・大子町は、総面積の約8割を森林が占める自然豊かな地域であり、日本三名瀑「袋田の滝」や紅葉の名所、オートキャンプ場、温泉などの観光資源を有する。
- ・平成28年には、「森林セラピー基地」の認定を受け、森林セラピー協議会や森林セラピーのプログラムを提供するトレーナーの会を設立。
- ・訪問時期・地域の一極集中、滞在時間の短さ等が課題であり、森林セラピーを活用することで、これらの課題を解決していくことを期待。

農泊事業の主な活用内容

ソフト対策(農泊推進事業)

① 企業向け滞在プログラムの開発

都市部企業や事業者を集めたワークショップの開催やモニターツアーの開催により、森林セラピー等の体験メニュー、宿泊メニュー、飲食メニュー等を検討し、企業向けの滞在プログラムを開発。

② 森林セラピーに関する人材育成

森林セラピーの先進地域である長野県信濃町に大子町のトレーナーを派遣し、「森林メディカルトレーナー」に養成講座への参加や実施プログラムの体験等を実施。派遣後に、大子町の他のトレーナーにも伝達実習を実施して、信濃町で得た知見を普及することでトレーナー全体のレベルアップ、ヨガやアロマオイルのプログラムの充実を図った。

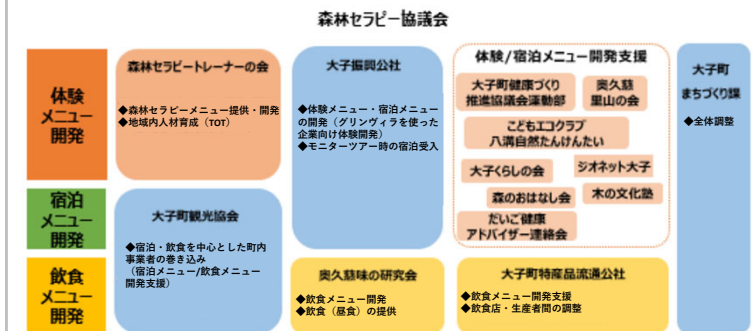
③ 都市部企業への営業活動

既存のHPの内容充実に取り組むとともに、都市部企業への営業活動を実施。

事業目的

- ・都市部の企業向けの滞在プログラムを磨き上げ、地域への訪問・宿泊・消費を促し、地域経済に貢献する。

事業実施体制



（参考）関連ウェブサイト

<https://daigo-foresttherapy.com/>

（参考）「農山漁村イノベーション推進・整備事業（農泊推進型）」以外の補助金等の活用

・地方創生推進交付金（内閣府）：セラピーロードの整備（H29年度）

地域概要（特徴・課題）

- ・「日本三大美林」である木曾ひのき天然林などの森林資源に恵まれ、森林浴発祥の地「赤沢自然休養林」や日本遺産に認定されている木曾路等の観光資源を有する。
- ・「赤沢自然休養林」は平成18年に「森林セラピー基地」の認定を受けており、年間利用者数は、約4万人。
- ・近年需要が高まっているインバウンド客層への対応力不足や、森林の健康増進効果を打ち出した観光市場が開拓されておらず、地域資源を十分に活用できていない事が課題。

農泊事業の主な活用内容

ソフト対策(農泊推進事業)

①インバウンド客層への対応力強化

旅行会社の海外専門スタッフと協力し、実地調査を実施。調査をもとに、日本語で行われている通常プログラムをベースとして、通訳付きプログラムを試行し、接遇マニュアルや英語版散策マップを作成。旅行代理店との連携体制を構築し、海外団体の受け入れ態勢を構築。

②さらなる森林活用プログラムの開発

ファミリー層向けのプログラム開発として、アドベンチャークエストイベントを試行。楽しみながら森林や自然について学べるクイズや探し物等の課題を提供。

③森林浴のモニターツアーの実施

地元企業を対象とした森林セラピーのモニターツアーを実施。

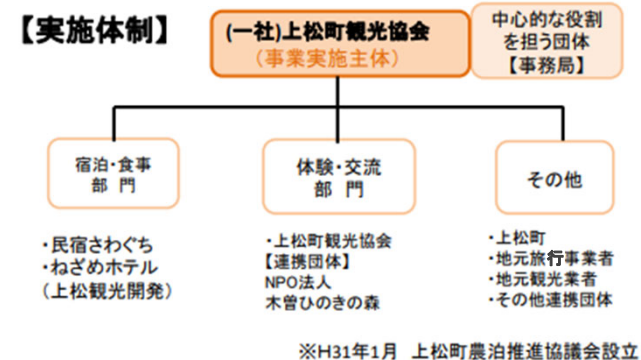
④旅行代理店ツアー担当者の木曾路研修

旅行代理店を対象に、森林セラピープログラムを実際に体験してもらい、魅力を周知。

事業目的

- ・インバウンドやファミリーの客層に対応した森林での体験プログラムの開発や受け入れ態勢の構築等を行い、地域の森林資源の活用を進める。

事業実施体制



(参考) 関連ウェブサイト
<https://kiso-hinoki.jp/>
<https://shinrinyoku.kiso-hinoki.jp/>

地域概要（特徴・課題）

- ・町有林「およりの森」（地域の言葉で「よってって」の意味）は、平成25年に森林セラピー基地認定を受けており、森林セラピーロードのほか、フォレストアドベンチャー施設、グランピング施設が存在。
- ・「およりの森」は、町だけではなく、地域住民らによるボランティア活動で継続的に整備されてきた。
- ・「およりの森」や果樹園等の地域資源を十分に活用できていないのが課題。

農泊事業の主な活用内容

ソフト対策(農泊推進事業)

①人材育成とコンテンツ開発

「森林セラピープログラム」開発の一環として、新規ガイド候補者らが、先進地域である信濃町の現地研修に参加したほか、信濃町の「森林メディカルトレーナー」を「およりの森」に招き、地元ガイドらと共に、新たなプログラムを開発。また、「松川リトリートプログラム」として、果物・野菜収穫体験や星空観察等を含むプログラムを開発。

②モニターツアーの実施

メディア関係者及び先進地域の関係者を対象に、「森林セラピープログラム」及び「松川リトリートプログラム」にのモニターツアーを実施、幅広い意見を収集。

③プロモーションツールの制作

プロモーション動画、webサイト、セラピーロードのマップの作成。

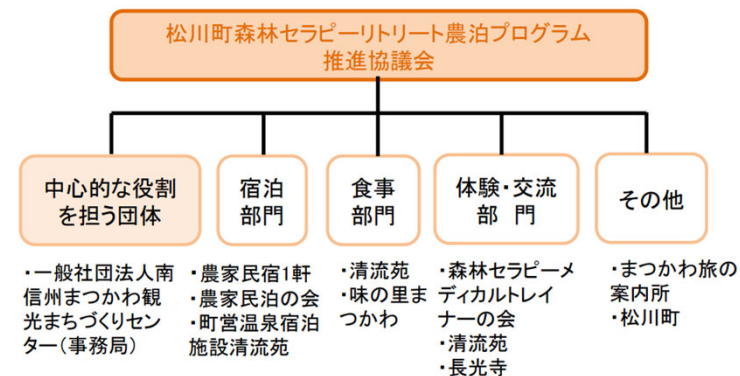
④宿泊プラン・食事メニューの開発

町内温泉宿泊施設にて、地域の食材を使用したセラピー食の提供を含む、宿泊プランを開発。

事業目的

- ・「およりの森」等の地域資源を活用し、旅行者が自然に触れ心身の健康を整える「森林セラピープログラム」、および町内の生活を体験する「松川リトリートプログラム」を開発する。

事業実施体制



作成したウェブサイト

(参考) 関連ウェブサイト

<https://dansuki.jp/retreat/>

(参考) 「農山漁村イノベーション推進・整備事業（農泊推進型）」以外の補助金等の活用

・辺地対策事業債（総務省）：「およりの森」の森林整備（平成25～27年度）